

媒体名	発行部数	掲載日	掲載面
Network World	40,000	2007年4月号	p. 28

Product

フォーティネットジャパン、レイヤー2スイッチ／検疫機能を統合したUTM製品「FortiGate-224B」を発表

フォーティネットジャパンは2007年1月29日、新製品「FortiGate-224B」の出荷開始を発表した。参考価格は85万1,100円から。

FortiGate-224Bは、企業の拠点間や中小企業のインターネットゲートウェイに配置するUTMアプライアンス。従来FortiGateシリーズで提供してきたセキュリティ機能（ファイアウォール、IPsec/SSL-VPN、IPS、アンチウイルス、Webコンテンツフィルタリングなど）に加え、新たにアクセスコントロール／検疫機能、およびレイヤー2/3スイッチ機能を搭載している。

これにより、外部からの攻撃のブロックだけでなく、モバイル機器の接続によるウイルス侵入／拡散や社員による社内リソースへの不正アクセスといった、ネットワーク内部で発生する脅威にも包括的に対応できる。

FortiGate-224Bのレイヤー2スイッチ部は、24個（10/100Mbps）+2個（10/100/1000Mbps）のスイッチポートと2個（10/100Mbps）のWANポートを搭載。各スイッチポートには個々にセキュリティポリシーを設定でき、ポリシー違反の通信を検出した場合は即時そのポートを隔離VLANに切り離す。この検疫機能はエージェントレスで動作するため、一般的なPCだけでなく、工場のFAシステムや店舗のPOSレジ、ATM機などを接続したネットワークにも適用できる。

製品発表会において、米フォーティネットの最高マーケティング責任者、リチャード・スティーノン氏は、ファイアウォールやクライアント上での対策といった旧来型のセキュリティソリューションは「現在の脅威に対抗できるものではない」と指摘。特に問題化している「内



▲FortiGate-224Bは、フル機能のUTMにレイヤー2スイッチと検疫機能を統合

部発生型の脅威」に対処するためには、FortiGate-224Bのようなきめ細かなアクセスコントロールのできる製品が必要であると訴えた。

なお、フォーティネットでは2007年中にFortiGate-224Bの上位モデルおよび下位モデルも提供開始し、ラインアップを拡充する予定。一方で既存の製品ラインアップも継続し、「大企業の場合、インターネットゲートウェイに既存のFortiGateを、拠点間に内部セキュリティとしてFortiGate-224Bを配置する」（スティーノン氏）といった構成を考えているという。

(NETWORKWORLD編集部)